

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こどもプラス系満教室		公表日		令和 8年 4月 30日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	15	0	運動部屋と学習部屋を分けて活動。宿題後に順次運動活動へ移行する流れの為、同時刻に児童が集中しないよう調整しています	児童の特性や活動内容に応じた環境設定や人数調整を継続。安全で過ごしやすい環境調整の工夫を継続していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	15	0	利用定員に対して基準を満たした職員配置を行っています。さらに、活動内容や児童の特性に応じて担当を分ける等、見守りが行き届く体制を整えています。	より質の高い支援を目指し、児童の特性に合わせた職員配置を継続。職員間の連携や支援体制の見直しを図っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	15	0	文字だけでなくイラストでの視覚支援で情報伝達ができるようにしています。	児童の特性に応じた環境設定や動線の見直しを継続していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	15	0	毎日、清掃点検担当の職員を配置。定期的な点検、整理整頓を行っています。	さらに、学童向けの知育玩具、図鑑などの種類を増やし興味関心を広げていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	15	0	必要に応じて個別の部屋を使用できる環境です。気持ちの切り替えや個別での学習支援など児童の状況に応じて活用しています。	個別部屋は活用できていますが、より安心して利用できるよう、職員間での運用ルールの共有を進めています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	13	2	日々のミーティングで支援の内容や見守りの改善点を話し合い職員の意見を取り入れながら業務改善に努めています。休みの職員の為LINEや共有ノートを活用し全職員が情報を把握出来るよう工夫しています。	特に、新人職員が目標設定や業務改善などに取り組みやすい体制作りを整えていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	0	保護者の意見や要望を把握しながら、業務改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	0	日々のミーティングで支援の内容や見守りの改善点を話し合い、職員の声を取り入れています。	発言しやすさに個人差があるため、意見収集が偏る可能性があります。定期的な個人面談などを行い意見の吸い上げを行っています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	15	0		改善計画を策定し進歩管理表を用いて定期確認を行うなど、現状を改善する意識を高めています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15	0	教室内で感覚統合やメンタルヘルス研修を行ったり、運動療育士やその他療育に関する研修会を行っています。	日々の療育の視点が高められるよう、こどもの観察の仕方の研修を行っています。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15	0	支援プログラムに沿って支援を行っています。	プログラムの実施後の振り返りを共有し、次の月や年間計画へ反映する仕組みを作っています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	15	0	日々、ご家族との課題の共有を行っており、支援会議にて協議を行い計画書を作成しています。	半年ごとに見直しを行い、職員間でケース会議を行っています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15	0	支援会議を行う事で職員の共通理解が出来ており、支援内容も検討の上作成しています。	計画作成時は常に情報共有を行っています。全職員間の共通理解の深化の為、日々の支援内容や意見交換の内容を記録に残しています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15	0	支援会議にて協議をしていますので計画に沿った支援をおこなっています。	支援計画は職員間で共有していますが、日々の記録や目標との連動性を高め、進捗状況をより明確に把握できるようにしていきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	15	0	面談や行動観察記録にて状況を把握しています。評価内容は記録し支援計画作成時の資料として活用しています。	AIを活用し計画と日々の支援に一貫性を持たせるなど、専門的視点+最先端の技術を用いてアセスメントなど評価基準に違いが生じないように統一性が図れる体制を整えています。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15	0	ガイドラインを踏まえて「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域連携」の視点を盛り込み、必要項目を整理したうえで具体的な支援内容を設定しています。目標、支援方法、評価時期を記載しています。	支援内容と評価結果の関連性をより明確にできるようにし達成度が客観的に判断できる方法へ改善をしていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	15	0	月に1、2回金曜日の午前中に職員間で運動活動プログラムの内容を話し合う時間を設けています。	現在の子どもたちの姿や興味に合わせて立案の検討を続けていきます。運動療育支援員取得者を今後も増やしていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	15	0	職員間で話し合いを持ち、月単位で目標を決めています。目標に沿ったプログラムの軸は立てるが担当職員を毎日変える、子供たちがやりたい内容を決めることができる時間を設け自主性を育成するようにしています。	運動療育支援員取得者や運動指導経験者に頼ることなく、全員が立案の経験できるようにローテーション性を取り入れて固定化しないように工夫しています。外部講師とのプログラムも積極的に進めています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	15	0	児童それぞれに合った計画書を作成しており、計画書に沿った支援を心がけています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15	0	朝礼では、支援内容や役割分担を毎日共有しています。また、受け入れ前はその日の児童の体調や保育園であった出来事などを受け入れ前に全職員に報告をしています。	携帯のLINE機能を使い共有しているが、確認できない職員もいるため、口頭でも周知をしています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	15	0	日々終礼の際に、児童の様子等を報告する事で注意点等を共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	15	0	記録はきちんと残しており、定期的の内容を確認し支援会議にて支援の検証を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15	0	定期的にモニタリングを実施し、児童の発達状況や目標達成度を確認しています。必要に応じて支援計画を見直し、口頭やアプリなどで保護者と共有しています。	モニタリング結果をより可視化し、計画の見直しの根拠を明確にすることで支援の質の向上を図っていきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	15	0	児童の特性や発達段階に応じて生活動作の習得、創作活動、地域交流の機会を組み合わせた支援をしています。	下校時刻が遅い場合、1日の活動時間が限られ複数の活動を十分に組み合わせることが難しいことが課題です。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	15	0	子ども達と活動（園外行事の行先等）の内容を相談したりすることで自己決定を行う事が出来る様に支援を心がけています。	活動の選択や意思表示の機会を設けているが、自己表現が難しい児童への支援や選択肢の工夫が課題です。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15	0	児童発達支援管理責任者が主に担当者会議に参加していますが必要に応じて準ずる者が参加する様にしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	15	0	市役所や医療機関と情報提供を行い、医療的配慮が必要な児童については対応を協議しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	15	0	保護者を通じての情報共有が主ですが、状況に応じて学校との共有も行っています。	学校との情報共有は、先生方の業務多忙の為、文書でのやり取りをうまく活用しているかが課題です。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	15	0	状況に応じて相談支援専門員を通じて適宜行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	15	0	小学校低学年の児童が対象となつてい為実施は無いが、他事業所へ移る際には情報共有を行っております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10	5	年に数回研修に参加しています。課題の多い児童の相談をしたり保育所等訪問支援での問題点など意見交換をしています。	管理者や児童発達支援管理責任者だけでなく多くの職員が参加できる機会を設けていきます。人数に限りがある場合が多いが新職員も積極的に参加できるようにしていきたいです。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	14	1	活動プログラムの一環で児童館の行事に参加したり、遊びに行くことがあります。また、地域の公園で活動中、近隣の子どもたちが活動に参加することがあります。	放課後学童クラブさんとの交流は今後検討していきます。
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	13	2	管理者が参加し、地域の情報収集や関係機関との連携を図っています。参加内容は職員間で共有し日々の支援にいかしております。	今後は職員の参加機会を増やし、地域との連携をより強化していきます。	

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	15	0	帰りの送迎時、保護者の方に「できるようになった事」や本人が抱えている「困り感」について情報共有を行っています。	ご両親が忙しく直接会えない保護者さんに関しては、今後も電話で連絡を取るなどして情報共有に努めていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	4	送迎時、必要があれば面談の機会を設けるなど家庭での関わり方についての助言を行っております。	現状は研修資料の提供機械に限られている為、今後は保護者が参加しやすい形での情報提供や資料提供の充実を図っていきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15	0	利用開始時に管理者より説明しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15	0	日々、課題の確認等を行いながら保護者やこども達の要望を確認しています。	児童の思いと保護者の要望が一致しない場合がある為、双方の意向をすり合わせ、児童の最善の利益を考慮した支援を行っていきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	15	0	児童発達支援管理責任者より説明を行い同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15	0	ご要望があった際には適宜行っています。	帰りのお迎え時に保護者から相談を受けることが多い為、相談をゆっくり聞きたい時は臨機応変に対応していきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	9	保護者会の開催には至っていませんが、送迎時の声掛けや個別の面談の機会を活用し保護者との情報共有や相談しやすい関係作りを努めています。	父母の会の活動支援や保護者会の開催までには至っていないため、今後は小規模な形から実施し保護者同士の交流や情報共有の機会を設けていきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15	0		ご意見を頂いた際には職員間にて共有を行う事で改善に心がけています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	15	0	定期的にブログの更新を行う様にしています。	必要な情報発信の内容を見直し・改善を行いより分かりやすく周知していく工夫をしています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15	0	施錠できる棚に書類を保管や、職員間でも個人情報の取り扱いには気を付けています。	個人情報の取り扱いについて定期的な確認、職員間での共有を行います。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15	0	連絡帳やアプリ、送迎時の共有を活用し保護者との情報伝達を丁寧に行い安心して相談できる関係づくりを心がけています。	保護者への情報発信が一方的にならないよう相談しやすい機会や双方向でのやり取りをさらに充実させていきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	9	地域との関わりを大切にし、近隣への配慮や挨拶、地域の施設利用や行事に参加を行うなど、地域に開かれた事業所運営を心掛けています。	現状では地域住民との交流に限られている為、地域行事への参加や事業所行事への招待など、地域との関わりを広げていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	15	0	マニュアルは作成しており事務所に保管し定期的に更新を行っています。	事務所に保管をしている為、保護者への周知には課題があります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	15	0	業務継続計画も作成・更新を行っており、2回避難訓練を実施しています。	非常時をより具体的に想定した訓練内容の充実を図り職員全体の対応力の向上を継続していく必要があります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	15	0	契約時に確認を行い、頓服で薬の服用依頼があった際には服薬依頼書に記入して頂き、職員間にて共有をしています。	情報共有は行えているが、急な体調変化にもより迅速な対応ができるよう確認体制の継続的な見直しを行っていきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	15	0	事前に保護者へ確認を行っており、オヤツなどではアレルギーが混入していないか確認をしています。	アレルギー情報の共有をより確実にする為、定期的な確認や職員への周知方法をさらに強化していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	15	0	安全計画も作成しており適宜更新及び点検を行っています。	職員全体への理解をより深める為、定期的な見直しの機会を充実させていきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	15	0		安全計画の周知が行える様に掲示していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15	0	記録に残す事で職員間にて共有し、再発防止に努めています。	ヒヤリハットを記録に残し、職員間での共有を継続していきます。記録内容や振り返りの機会をさらに充実させていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15	0	定期的に動画研修を視聴を行う事で適切な対応が行える様に心がけています。	支援中に関わりについてのチェックシートを実施。日々の支援に活かせるよう継続的な確認と職員間での共有を強化していきます。

54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	15	0	身体拘束の事例が発生した際には法人内の身体拘束適正化委員会にて対応を協議しています。	身体拘束に関する共通理解の強化を図っていきます。
----	--	----	---	--	--------------------------